



2008年 6月24日(火) - 7月18日(金)

※月曜日は休館

東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホール(地下1階)

主催: 東京国立近代美術館フィルムセンター、ぴあ株式会社

料金=共催企画の特別料金

前売券(日時指定・全席自由席)800円

当日券: 一般1000円 / 高校・大学生・シニア800円 /

小・中学生600円 / 障害者(付添者は原則1名まで)は無料

定員151名(各回入替制)

■前売券は、チケットぴあ(音声認識予約0570-02-9999)にて、6月7日から各上映日の2日前まで販売します(Pコード554-304)。チケットぴあのお店、ファミリーマート、サークルK・サンクスでも購入することができます(フィルムセンター窓口での販売はございません)。

・前売券は指定の日時にのみ有効で、払い戻しはできません。

■当日券(当日・当該回のみ有効)は、会場受付にて各回上映30分前から開映時刻まで発売します。ただし、前売券が売り切れた場合は、当日券はございません。前売券の販売状況はフィルムセンターのホームページ(<http://www.momat.go.jp/>)で確認することができます。

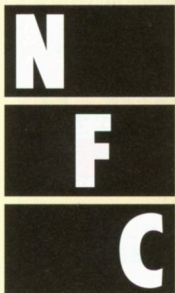
発券=地下1階受付

・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切となります。

・学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示ください。

・発券は各回1名につき1枚のみです。

・開映後の観覧券の発売はいたしません。



東京国立近代美術館フィルムセンター
National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo

小ホール

小ホール
上映作品

日本インディペンデント映画史シリーズ①
PFF30回記念
ぴあフィルムフェスティバル
の軌跡 vol.1
The History of Japanese Independent Cinema I
Retrospective of Pia Film Festival vol.1

8mmや16mmなど「自主映画」のコンペティションを実施して、今年30回目を迎える「ぴあフィルムフェスティバル(PFF)」は、アマチュア映画ならではの自由な表現や新たな才能を開拓する場所であると同時に、現在の日本映画を支える映画監督たちの映画界への登竜門としても知られています。

フィルムセンターが企業外映画を本格的に取り上げる新シリーズ「日本インディペンデント映画史シリーズ」の第一回目となる本企画は、ぴあ株式会社との共同主催により、歴代の入選作を上映しながらPFFの歴史を振り返るもので、今回の「vol. 1」では、1986年まで最初の10年間を対象に、40本の作品(22プログラム)を紹介します。若さ溢れる映画の力をご堪能ください。

- 監=監督 制=制作 原=原作 脚=脚本 撮=撮影
照=照明 美=美術 編=編集 録=録音 音=音楽
出=出演
- 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
■記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。
■プログラムの内容や上映順序はやむを得ず変更になることがあります。

フィルムセンターでは、映画を最良の環境で鑑賞していただくため、開映後の入場をお断りしています。ご鑑賞の際には時間に余裕をもってご来館ください。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

*2本以上の作品が上映されるプログラムでも、最初の作品からご鑑賞いただいております。

1 6/24(火)2:00pm 7/13(日)0:00pm

ユキがロックを棄てた夏
(70分・16mm・白黒)

78年(第2回)入選作品。新作『西の魔女が死んだ』の公開を6月に控える長崎俊一が日本大学芸術学部在学中に発表した16mm作品。ロックシンガーのユキは、仲間を棄て、メジャーデビューを果たそうとしている。元マネージャーと所属プロダクションとの抗争は次第にエスカレートしていく…。

78◎長崎俊一◎江浜哲寛◎上野謙一◎薄井文介◎内藤剛志、仲井千雅、佐藤百起、青木隆太郎

2 6/24(火)6:00pm 7/6(日)0:00pm

ライブイン茅ヶ崎
(85分・8mm・カラー) *デジタル素材での上映

78年(第2回)入選作品。都会から遠く離れた茅ヶ崎で生まれ育った湘南ボーイ達の、何の変哲もない毎日を、リズミカルな映像構成で楽しく表現。森田芳光はこの後の『ようなもの』(1981年)で劇場映画に鮮烈なデビューを飾る。

78◎◎◎森田芳光◎青木真己、石井保、三沢信子、熊沢雅之、高橋功一、青木祐子、上野真知子

3 6/25(水)2:00pm 7/12(土)0:00pm

突撃! 博多愚連隊
(67分・8mm・カラー) *デジタル素材での上映

78年(第2回)入選作品。8mm作品『高校大パニック』を日活でリメイクした石井聰互が、再び8mmで手がけたパイオレンス・アクション。暴力団抗争、組長襲撃事件を背景に、死に急ぐ6人のチンピラ達の熱い生き様が博多の町を舞台に描かれる。

78(狂映舎) ◎◎石井聰互◎大屋龍二◎伊藤敏朗◎シャイニ◎志水正義、八谷富夫、樋口享、土方鉄人、泉谷しげる

4 6/25(水)6:00pm 7/8(火)2:00pm

ORANGING '79 (25分・8mm・カラー)

79年(第3回)入選作品。もぎたてのオレンジのようなみずみずしい感性で作られた『女の子映画』。主演は現在、映画イラストレーターとして活躍している三留まゆみ。今関あきよしは『アイコ十六歳』(1983年)で商業映画デビューを果たした。

79◎◎◎◎今関あきよし◎三留まゆみ、田代豊一、手塚真

スバルの夜 (60分・8mm・カラー)

79年(第3回)入選作品。大正時代を想わせるような不可思議な画調の中で展開される夢幻の世界。古めかしい章題とともに始まる各シークエンスが、懐かしいまどろみの世界へと誘う。寺山修司作品から映画の道に入った山田勇男は、一貫して幻想的な作品を作り続け、1992年に初の35mm作品『アンモナイトのささやきを聞いた』を発表。2003年にはつげ義春原作の『蒸発旅日記』が公開された。

79(銀河画報社) ◎山田勇男◎稲葉憲仁◎藤木光次◎田川真理子

5 6/26(木)2:00pm 7/8(火)6:00pm

UNK (15分・8mm・カラー)

79年(第3回)入選作品。出演以外のすべてをひとりで行った手塚眞の初期の短篇作品。スビルバーグの『未知との遭遇』へのオマージュで、空飛ぶ円盤にさらわれた少女が、宇宙人の都市へと誘う。明確な物語や台詞はなく、実験的な手法とミニチュアなどを使った特殊撮影がテンポ良く融合している。

79◎◎◎◎手塚眞◎山本奈津子

錆びた缶空 (59分・8mm・カラー)

79年(第3回)入選作品。石井聰互を中心とする狂映舎で活動していた松井良彦のデビュー作。三人の同性愛者の三角関係を軸に、その「愛」と「破壊」の果てに残る屈辱と頹廃を過激かつ滑稽に描く。松井良彦は1986年に『追悼のざわめき』を完成。2007年には22年ぶりの新作『どこに行くの?』を完成した。

79(狂映舎) ◎◎◎松井良彦◎◎秋田光彦◎石井聰互◎田村三郎、佐野和宏

6 6/26(木)6:00pm 7/6(日)3:00pm

放課後 (1分・8mm・カラー)

81年(第4回)入選作品。ある放課後の風景。誰もいない廊下、教室の片隅で囁かれるヒソヒソ話、窓ガラスに口紅で残された文字、そして、一人の女生徒…。喧騒が去った後の空気を、ユニークな視点によって切り取り、1分間の映像の中に凝縮した作品。倉田恵子は1982年に楠田恵子名義で『女子大生の下半身 な～んも知らん親』を監督。その後は吉村元希名義で脚本家として活躍中。

80◎倉田恵子◎風野桂子

おろち (4分・16mm・カラー)

78年(第2回)入選作品。映画評論家としても知られる宇田川幸洋が、小型映画ならではの時間表現テクニックを駆使して、模図かずおの原作マンガをたった4分間という短い時間の中に凝縮。原作の設定も作者の大胆な解釈によって、あっと驚く大歌取りがなされている。

78◎宇田川幸洋◎上野広喜◎模図かずお◎上野謙一◎角中和男、灰島かりゐの出演あべしろうぞう

気分を変えて? (30分・8mm・カラー)

79年(第3回)入選作品。キャンディーズが解散した1978年に、初めて男の誕生日を迎えた一人の少年が、「気分を変えて」という映画を作ること、それを乗り切る姿が描かれる。大童一心はCMディレクターを経て『二人が喋ってる。』(1997年)で劇場映画に進出。新作『グーグーだって猫である』が今年公開予定。

78(法政一高シネマ・ド・ヒマコ) ◎◎◎◎◎大童一心◎池田一之◎原純一、長谷川聡

教訓 I (35分・8mm・カラー)

81年(第4回)入選作品。ある高校のある日の朝礼で、突然、徴兵令が敷かれることが教頭から宣告される。軍事教練が始まり、やがて、やはり軍隊を持った他の学校との戦争にまで発展する…。笹平剛はこの年の岡本喜八監督作品『近頃なぜかチャールストン』に脚本家、俳優として参加、以後、利重剛の名前で俳優としても活躍し1989年に『ZAZIE』で劇場映画監督デビュー。

80(熱血笹平組&放浪舎) ◎◎◎◎◎笹平剛◎最賀俊介、古賀弘之◎鶴田雄次郎、加瀬文照、彦坂誠

7 6/27(金)2:00pm 7/13(日)3:00pm

まじかよ? (10分・8mm・カラー)

81年(第4回)入選作品。主人公はいつも眼帯をかけ鼻をすすりながら中学時代のアルバムを眺めている、どろどろとたぎるサディスティックな暴力衝動を胸に秘めながら…。芹沢洋一郎はその後、実験映画の製作に進み、CMディレクターのかたわら作品を発表し続けている。

80◎◎◎◎芹沢洋一郎◎樋口南海、富沢卓男、高木雅明、古谷野俊一

ビハインド (60分・8mm・パートモノクロ)

79年(第3回)入選作品。『ピリィ★ザ★キッド』の新しい夜明け』(1986年)、『SO WHAT』(1988年)などで知られる山川直人が早稲田大学在学中に制作した作品。“意識変革の為の自己の背景探究とそれに付随する状況のイメージ、およびその直接的な人間関係、集団力学の考察”を製作意図とする。短く大胆なカットティングのセンスとリズムが高い評価を受けた。自主映画時代の室井滋、石井めぐみ(石井葉子)の出演にも注目。

78(早大シネ研タコス) ◎◎◎◎山川直人◎沖山真保◎黒崎晶子◎伊藤清彦、石井葉子、室井滋

8 6/27(金)6:00pm 7/12(土)3:00pm

休憩 (10分・8mm・カラー)

81年(第4回)入選作品。一度撮影したフィルムをスクリーンに投影し、それをもう一度撮影する再撮影の技法や、投影したスクリーンの前に人物を置いて撮影するスクリーンプロセスの技法で作られた作品。変容された幻想的な風景と工事現場の生々しい騒音の対比が不思議な映像体験を生み出す。飯田譲治はその後『NIGHT HEAD』(1994年)、『らせん』(1998年)などを監督。

80◎◎◎◎飯田譲治 ◎斉藤史香、茅野哲也

東京白菜関K者
(62分・8mm・カラー) *デジタル素材での上映

81年(第4回)入選作品。朝起きたら、突然「白菜男」になっていた、という男の受難劇。今や貴重品となった白菜を追いかつ一般市民の興奮の中で主人公は不条理に悩むヒマすらない。緒方明は2000年に『独立少年合唱団』で劇場監督デビューを果たした後に、続く『いつか読書する日』(2004年)で高い評価を得た。

80(ダイナマイトプロ) ◎◎◎緒方明◎石井聰互◎尾上克郎、保坂和志、室井滋、日野蘭子

9 6/28(土)0:00pm 7/9(火)2:00pm

海辺の記憶 (5分・8mm・カラー)

83年(第6回)入選作品。手の甲をカッターで切ってゆくシーンと、海辺で男が撲殺されるシーンだけからなる作品。山崎幹夫は翌年『ゴーストタウンの朝』で二年連続入選を果たし、1995年に『PU プ』が劇場公開された。現在も8mm映画を中心に自主制作・自主上映活動を続けている。

82◎◎◎◎◎山崎幹夫

バスクリンナイト (28分・8mm・カラー)

84年(第7回)入選作品。冒頭から猛スピードで放たれる台詞の洪水と、理不尽な役者の動きの不協和音が奇妙にリズムカルでユニークな作品。香川まさひとはその後、NHK芸芸台本コンテスト最優秀賞受賞を機に脚本家として活躍。テレビドラマ化もされた漫画『島根の弁護士』の原作者としても知られる。

83◎◎◎◎◎香川まさひと◎山本秀実、堀田江利子、木原実、杉山良一

吊首姦太郎の青春 (35分・8mm・カラー)

85年(第8回)入選作品。字幕による会話とスチルと実写によって、「私」の切ない青春物語が綴られる。コマ伸ばし、特種フィルター等の実験的手法を随所に用いた瑞々しい映像と、情動的な音楽が心地よく浸透してくる。クマガイウキはその後、アニメーション監督として活躍。近作に『ぼのぼの クモモの木のこと』(2002年)。

84◎◎◎◎◎クマガイウキ◎高橋里実◎栗原千波留、三浦茂

10 6/28(土)3:00pm 7/11(金)2:00pm

田舎の法則 (25分・16mm・白黒)

84年(第7回)入選作品。ある夏休み。帰郷した少年を迎える女友達。大人っぽくなった彼女との甘く感傷的な時間が描かれる。松岡錠司は1990年に『パタアシ金魚』で劇場用映画監督デビュー。最新作は『歓喜の歌』(2008年)。

83◎◎◎◎松岡錠司◎萩原誠◎松本毅、西村むつみ、小沢敏彦

リトル・ウィング(70分・8mm・カラー)

82年(第5回)入選作品。友人との関係、恋人との関係、何もかもが隣り合わせの小さな生活。漫画家を志す主人公は「つげ義春選集」をリュックに旅に出る。ユニークな語り口と鮮やかな映像が印象的な作品。島田元はその後、脚本家として活躍、2005年にはオムニバス映画『情無用の刑事まつり』に自作自演で参加。

'81 島田元 坂東信弘 小林久美子 宮本麻代

11 6/29(日) 0:00pm 7/15(火) 6:00pm

ミミズのうた(80分・8mm・カラー)

83年(第6回)入選作品。松井良彦、石井聰互らの自主制作映画への出演を経て、後には「ピンク四天王」と呼ばれる監督の一人として注目される佐野和宏自ら監督した自主制作映画第一作。孤独な日常と拳銃を手に入れ暴走する主人公の青年役を佐野自ら演じ、自作自演のスタイルを早くも確立している。

'82 佐野和宏 石川あきら 福島清和 五月マリア、小水一男、松井良彦

12 6/29(日) 3:00pm 7/18(金) 6:00pm

少年たちの夢(19分・8mm・カラー)

82年(第5回)入選作品。カメラを持った少年の手、そして廻り始めたカメラが捉えた長い長い少年自身の影…。ありふれた風景をナイーブな感性を通して映し出す一人称映画。関根博之はその後、廃墟をテーマにした一連の8mm作品を制作し、2001年山形国際ドキュメンタリー映画祭では摩耶観光ホテルを撮った『MAYA』が上映された。

'81 関根博之

雨(25分・8mm・カラー)

82年(第5回)入選作品。「時計の振子の音 激しい雨音に掻消され 無邪気に少女 笑えば 水晶玉の向う側 隅った壁の向う側に 大人になった自分が 透けて見えた。一人の少女の孤独な幻想を描く。小口詩子は1989年に『おでかけ日記』がイメージフォーラム・フェスティバルで大賞を受賞。他の作品に『バラ科たんぽぽ』(1990年)、『眠る花』(1991年)など。

'81 小口詩子 山本政信 高村マミ

デッド・エンドレス(12分・8mm・カラー)

84年(第7回)入選作品。どこにでもある風景が、カットのつながりで不思議な存在感を生み、レンズに釘を打つ不気味さは、ラストを哀しくする。竹平時夫は長らく照明の仕事にたずさわった後、近年はプロデューサーとして活躍。

'83 竹平時夫 鈴木章浩、山川直人、小倉千夏 張順子、金田直子、李 芳一、川村浩之、三戸宏之

0×0(ゼロカケルコトノゼロ)
(22分・8mm・カラー)

84年(第7回)入選作品。いつもと違う一日を過ごそうと街に出た少女二人。街角の出会いすべてがドラマ…。等身大ともいえる作者たちの感受性が、生き生きと躍動している作品。風間志織は、第1回の制作援助企画(現PFFスカラシップ)を受けて『イみてーしょん、インテリあ。』(1985年)を監督。近作に『せいののわ』(2004年)。

'83 風間志織 小めさん 佐野仁美、河上晶子、柴本真理、長谷川直子、宅間亜希子、塩沢里美、橋本直子

13 7/1(火) 2:00pm 7/16(水) 6:00pm

ファアラ
(65分・8mm・カラー) *デジタル素材での上映

84年(第7回)入選作品。夏子と宏、宏と雪子、雪子と夏子。三人の男女の関係を、シャレた台詞とスマートな面で描く立教大学SPPらしい作品。塩田明彦は『月光の囁き』と『どこまでもいこう』で1999年に劇場映画の監督としてデビュー。最新作は『どろろ』(2007年)。

'83 塩田明彦 宮川明 勝野宏 久保田祥子、渡辺純子、岸野崩園

14 7/1(火) 6:00pm 7/10(木) 2:00pm

肉体労働者が空を飛ぶ時、窓ぎわのコーちゃんに恐怖の暗躍団が迫る!!
(78分・8mm・カラー)

84年(第7回)入選作品。内気な浪人生コーちゃんが、恐怖の暗躍団相手に活躍。スーパーマン、インディ・ジョーンズ、黒澤明など娯楽映画のパロディに、スタントマン顔負け?のアクションも楽しい、荒唐無稽の大エンタテインメント。作者たちの映画への思いが胸を打つ。

'83 (XY PRODUCTION) 西尻幸綱、内田勇治 宮西昭 上山努、田中由里花、井川雅智、松本直樹、渡辺正俊、中山頼一

15 7/2(水) 2:00pm 7/17(木) 6:00pm

家、回帰(18分・8mm・カラー)

85年(第8回)入選作品。「去年、祖父が死んだ。」という言葉で始まり、作者は後に残された祖母に眼差しを向ける。自分のことを考える時、自分の血、或いは家族を避けては通れないと言う作者は、祖母を見つめることで自己の存在を問い直そうする。前橋を拠点に詩的な個人映画を撮り続ける石井秀人の初期の代表作。

'84 石井秀人 石井みき、石井良子、石井淳、石井裕治

変形作品第2番(30分・8mm・カラー)

85年(第8回)入選作品。地面とも壁とも判断のつかない抽象的な画面が、ノイズとともに点滅を始め、やがて動きが加わり目まぐるしく変形してゆく。次第にスクリーンはフォルムの嵐の様相を帯び見るものを圧倒する。実験的なアニメーション映画で国際的にも評価の高い黒坂圭太初期の作品。

'84 黒坂圭太

二度と目覚めぬ子守唄(27分・8mm・カラー)

86年(第9回)入選作品。周りからいじめられ、疎外される少年。彼の憎悪は日増しに募り、彼以外のあらゆるものに向けられていく。“いじめ”をテーマにしたアニメーション、という表現ではおさまらないほどの怨念が、強烈な映像のパワーとなっている者に襲いかかる。原田浩はアニメーターとして活躍後フリーに。丸尾末広の漫画を原作にした『地下幻燈劇画 少女椿』(1992年)が知られている。

'85 原田浩 原田直火、高橋勝仁 出澤 稲見清彦、香月真琴、末吉剛、星川由美

16 7/2(水) 6:00pm 7/15(火) 2:00pm

うしろあたま(124分・8mm・パートモノクロ)

85年(第8回)入選作品。突然髪を男みたい短く切った女子大生のごくありきたりな日常が、ほとんど据えっ放しの超長回しカメラで捉えられる。それに女子高生時代の友人達とのエピソードが白黒の映像でカットバックされ、やがて過去は現在とダブリ、日常は大胆な非日常へと変貌してしまう。高野文子の同名の短篇漫画が発想の原点。斎藤久志は第2回PFFスカラシップで『はいかぶり姫物語』(1986年)を監督。1997年に『フレンチドレッシング』で劇場映画監督デビュー。脚本家としても活躍中。

'84 斎藤久志 高野文子 岸田義孝 寺田裕之 村山竜二 浅田美納子、岡本千都子、平田敦司

17 7/3(木) 2:00pm 7/11(金) 6:00pm

はなされるGANG

(85分・8mm・カラー) *デジタル素材での上映

85年(第8回)入選作品。冒頭、二人の出演者がこれから始まる物語について語る。耳の聞こえないギャングと文庫本を読む少女の逃走劇…。シーン毎に撮影日付が記され、ほぼ順撮りで一筆書きのようにして撮られた作品。諏訪敦彦は1997年に『2/デューオ』で長篇映画監督デビュー。その後の作品に『M/OTHER』(1999年)、『不完全なふたり』(2005年)など。

'84 諏訪敦彦 加村陸幸、伊藤理恵

18 7/3(木) 6:00pm 7/16(水) 2:00pm

時を駆ける症状 The message from subway(24分・8mm・カラー)

85年(第8回)入選作品。突然、人間の体が消えたり現われたりと云う点滅を始め、それが段々早くなって遂には消滅してしまうと云う“時を駆ける症状”が全国的に蔓延。対策として、高校の健康クラブでは毎日、踏み台昇降運動を行い、規則正しい生活を送るようにする。それを横目で見ていた少年に点滅が始まり…。七里圭は2004年に山本直樹のコミックの映画化『のんきな姉さん』で商業監督デビュー。最新作は『マジックリング』(2007年)。

'84 (C・C・C) 七里圭 丸山敦 武蔵誠、三竹暢彦、渡辺裕之、岩崎ひとみ、羽賀剛、長谷川功

狂った触角(57分・8mm・カラー)

85年(第8回)入選作品。街を疾走するカメラ、部屋の中をなめ回すカメラ。その視線が、作者の目と同一化し、周囲を見渡す。全編同録の手持ちカメラで、生々しい作者との同一体験を強いる日記映画。平野勝之は80年代から90年代にかけてAV監督として活躍、そのなかの不倫旅行シリーズが再編集、劇場公開され評価を得る。自転車三部作の『白 THE WHITE』(1999年)はベルリン映画祭で上映された。

'84 平野勝之

19 7/4(金) 2:00pm 7/9(水) 6:00pm

いそげブライアン(67分・8mm・カラー)

86年(第9回)入選作品。ブライアンとチャーリー。「俺たちは最強のタッグチームだった」。ある日二人は離ればなれになり、全く対照的な人生を歩み始める。その生きざまを、喋りっぱなしのモノログとたたみかけてくるイメージによってパワフルにリリカルに描いた無国籍青春映画。小松隆志は翌年の第3回PFFスカラシップ作品『パス』(1987年)を経て、『はいすくー仁義』(1991年)で商業映画監督デビュー。近作に『幸福な食卓』(2007年)。

'85 小松隆志 臺田忠雄 伊藤裕康、村越壮希、木名瀬幹子、柚木理恵

20 7/4(金) 6:00pm 7/17(木) 2:00pm

俺は園子温だ!!(32分・8mm・カラー)

86年(第9回)入選作品。カメラに向かい作者が今日の日記をつけるように喋り出す。そんな静かな日々の記録が綴られてゆくのかと思いきや、古びた館のイメージ・ショットがインサートされ、突然カメラが走り出して作者は狂ったように騒ぎ出し、果ては頭を刺す。園子温は『男の花道』(1986年)で2年連続のPFF入選。スカラシップ作品『自転車吐息』(1989年)がベルリン映画祭を始め、各国の映画祭で上映された。新作『愛のむきだし』が今年公開予定。

'84 園子温 山道亮介 中川ろこ、大岡一生、ユキコ、お花畑狂介

につぼにーず・がーる(59分・8mm・カラー)

85年(第8回)入選作品。ある日、たかおの元に赤紙が届き、彼は消息を絶つ。ガールフレンドの洋子と圭子は、彼を求めて探し回る。やがて、2人の男に拉致されている彼を見つけ、そこから彼女達と男達のあくなき追いかっこが始まる。軽快な移動撮影の長廻しの多用と、登場人物の得体の知れない寡黙な雰囲気、奇妙な味を醸し出している。常本琢招は『制服番 おしえて!』(1990年)で商業映画デビュー。Vシネマ作品も多く手がけている。

'84 (Golden Partners Company) 常本琢招 仙正明 徐瀬倍六、杏里あるか 中森裕美、桜井順子、原田摂子、小窪郁、石沢志折

21 7/5(土) 0:00pm 7/18(金) 2:00pm

みどり女(135分・8mm・カラー)

86年(第9回)入選作品。緑色の性器を持つ女みどりと、彼女を愛する3人の男。4人は、奇妙な同棲生活を送っている。しかし、みどりがひとり旅から戻った時、俄かにそのバランスは崩れ始め、ドラマは悲劇的な結末に向かって走り出す。成島出は『油断大敵』(2004年)で商業映画監督デビュー。『フライ、ダディ、フライ』(2005年)が高い評価を得た。

'85 成島出 遠藤孝史 日野明子、琢磨裕二、原田文明、長谷川雅一

22 7/5(土) 3:00pm 7/10(木) 6:00pm

ヒッチハイク・ブレイク
(9分・8mm・カラー)

85年(第8回)入選作品。膨大なスチル写真を使い、待てども待てども車がつかまらないヒッチハイカーの姿を、多面マルチや逆転など様々な動きのバリエーションで表現。大阪芸術大学在学中より映画作りを始めた武吉伸治による、気の遠くなるような手間をかけて作られた実験映画。

'84 武吉伸治 石井泰徳

ヒュルル…1985(56分・8mm・カラー)

86年(第9回)入選作品。いきなり作者自身が実名で画面に現われ、友人達と映画をつくる過程が綴られてゆく。たまたま女優をやることになった女の子や仲間との淡々とした日常の会話。そしてラスト、作者は女の子の部屋を訪ねる。ほとんど長廻しの、しかも作為を感じさせないカメラが捉えた“生きている作者自身の真実”。橋口亮輔はその後『夕顔の秘密』(1989年)でPFFアワードグランプリを受賞し、スカラシップ作品『二十才の微熱』(1992年)を発表。新作『ぐりぐり』が6月に公開予定。

'85 橋口亮輔 斎藤久志 渡辺のみ子

		月	火	水	木	金	土	日
小ホール	6月	23	プログラム1 2:00pm *トーク・イベントがあります	プログラム3 2:00pm	プログラム5 2:00pm	プログラム7 2:00pm	プログラム9 0:00pm	プログラム11 0:00pm
			プログラム2 6:00pm	プログラム4 6:00pm	プログラム6 6:00pm	プログラム8 6:00pm *トーク・イベントがあります	プログラム10 3:00pm	プログラム12 3:00pm
		30	プログラム13 2:00pm	プログラム15 2:00pm	プログラム17 2:00pm	プログラム19 2:00pm	プログラム21 0:00pm	プログラム2 0:00pm
			プログラム14 6:00pm	プログラム16 6:00pm	プログラム18 6:00pm	プログラム20 6:00pm	プログラム22 3:00pm	プログラム6 3:00pm
	7月	7	プログラム4 2:00pm	プログラム9 2:00pm	プログラム14 2:00pm	プログラム10 2:00pm	プログラム3 0:00pm *トーク・イベントがあります	プログラム1 0:00pm
			プログラム5 6:00pm	プログラム19 6:00pm	プログラム22 6:00pm	プログラム17 6:00pm	プログラム8 3:00pm	プログラム7 3:00pm
		14	プログラム16 2:00pm	プログラム18 2:00pm	プログラム20 2:00pm	プログラム21 2:00pm		
			プログラム11 6:00pm	プログラム13 6:00pm	プログラム15 6:00pm	プログラム12 6:00pm		

■トーク・イベント(予定)

▶6月24日(火)2:00pm

プログラム1上映終了後

ゲスト:長崎俊一(『ユキがロックを棄てた夏』監督)

▶6月27日(金)6:00pm

プログラム8上映終了後

ゲスト:緒方明(『東京白葉関K者』監督)

▶7月12日(土)0:00pm

プログラム3上映終了後

ゲスト:石井聰互(『突撃! 博多愚連隊』監督)



ユキがロックを棄てた夏



突撃! 博多愚連隊



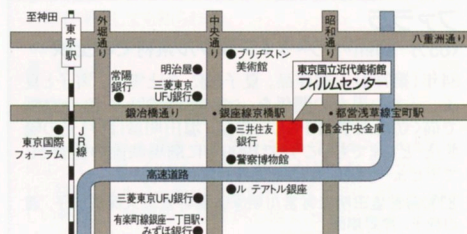
東京白葉関K者



ライブイン茅ヶ崎



UNK



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京外口銀座線京橋駅下車, 出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車, 出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京外口有楽町線銀座一丁目駅下車, 出口7より徒歩5分
JR東京駅下車, 八重洲南口より徒歩10分

表紙の写真(左列上から):

▶1列目

スバルの夜

放課後

おろち

気分を変えて?

▶2列目

教訓I

ビハインド

海辺の記憶

少年たちの夢

▶3列目

雨

0×0(ゼロカケルコトノゼロ)

ファララ

肉体労働者が空を飛ぶ時、窓ぎわのコーちゃんに恐怖の暗躍団が迫る!!

▶4列目

家、回帰

うしろあたま

はなされるGANG

時を駆ける症状 The message from subway

▶5列目

狂った触角

いそげブライアン

俺は園子温だ!!

ビュルル...1985

お問い合わせ:ハローダイヤル03-5777-8600

NFCホームページ:

<http://www.momat.go.jp/>

NFC携帯電話ウェブサイト:

<http://www.momat.go.jp/nfc/k/>

